

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市上野山児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成29年4月1日から平成34年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 25,635人 (前年度比 105.6%) 平成28年度 24,281人 平成27年度 24,361人 平成26年度 22,218人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 31,565千円 (27,746千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート, 児童館運営懇談会, 児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、管理運営団体が作成した「オリエンテーションブック」を用いて職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域の特性を生かした各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。	S
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だよりの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	S
V 施設固有の基準	地域の自然を活用してのびのびと遊ぶ機会を設けるなど、積極的に地域資源や特性を生かした運営を行っている。児童クラブでは、保護者懇談会の際に、子育て講話や地域ごとの顔合わせを行い、情報提供や保護者同士の交流、情報交換の場の提供等を行っている。また、個人面談の期間を設け、希望者が相談しやすい環境作りに努めるなど、家庭と連携した育成支援に取り組んでいる。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>今年度重点的に取り組んだことは2つあります。一つ目は、和太鼓クラブ“飛竜の会”を発足し活動を開始したことです。5月から定期的に練習を重ね、初めて上野山町内会の夏祭りで演奏する機会をいただきました。その後、敬老の会にも招かれ式典の中で息ぴったりの演奏を披露し、会を盛り上げてくれたと多くの方からお褒めの言葉と拍手をもらい、発足1年目にして大きな自信に繋げることができました。</p> <p>また、西多賀支援学校の文化祭や楽元の森の音楽祭等で演奏し地域の皆様に親しまれる存在になってきたことを実感できました。</p> <p>二つ目は、児童クラブ登録数が増えてきたことや高学年の児童の遊びの充実という視点から“自分の得意なことを遊びの中で見つけよう”を合言葉に日々の遊びのプログラムや夏休み等の長期休みの過ごし方を考え実践してきました。特に集中して取り組むことを大切にしたカゴバック作り、塗り絵コンテスト、カプラタイム、LaQタイム、リース作り等々の活動やディアボロ、けん玉、お手玉、コマ回し等の遊びを時間を決めて連続して取り組んできました。積み重ねていく中で自分の得意なことを見つけ、3月に実施した“みんなの発表会”では一人一人が自信をもって自分の頑張ったこと得意なことを披露することができました。自分の頑張りそして友達頑張りそして皆が大きな拍手を送る姿に、心の成長を実感し、児童館の役割の一つである児童の健全育成事業を推進できたことを嬉しく思いました。</p> <p>次年度も地域に開かれ愛され活力のある児童館運営を目指しながら、子どもたちが地域の中で心豊かに暮らしていけるよう取り組んでいきたいと思えます。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>高学年の子どもボランティアの活動を積極的に支援し、子どもの特技発表行事「みんなの発表会」の司会や、地域の支援学校文化祭でブースを担当するなど活躍の場を提供している。小学生対象に月1回定例行事を実施し、工作、自然、表現活動、運動、伝承遊び等多様な遊びや体験の場を提供しているほか、長期休業中にも遊びの充実を図り、すいか割りなど季節の行事も取り入れるなど、地域の健全育成環境の向上を図っており評価できる。</p> <p>併設の放課後等デイサービスとの合同行事を通して利用者交流を図るほか、子育て支援クラブ、交通安全協会など地域活動団体やボランティア等との連携を通して、地域の多様な人・世代との触れ合い、相互理解を深めている。また、和太鼓の会を発足し、地域の中で子どもの発表の場を持つほか、支援学校、縄文の森、市民センター、小学校などの地域施設と連携することで企画の充実や地域で子どもを育む環境作りに取り組んでいる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課） 子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室